

関西宇宙イニシアティブ 第 54 回 KaSpI セミナー

「アジアでの植林ーバイオ燃料製造・利用による気候変動緩和策の構築」

開催日	2016 年 11 月 4 日(金) 18 時 00 分～20 時 00 分
開催場所	I-site なんば http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/map/index.html
開催場所詳細	大阪府立大学 I-site なんば(南海なんば第 1 ビル 2 階) 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1 番出口)」下車、徒歩約 7 分 など
概	<p>大阪府立大学の前田泰昭特認教授をお迎えして開催します。先生は日本とベトナムの環境協力に永年にわたり尽力され、2013 年にはベトナム天然資源環境省から「日越国交 40 周年記念環境功績賞」、ベトナム国家大学ホーチミン校から特別栄誉教授の称号を授与されています。また、SATREPS「ベトナムおよびインドシナ諸国におけるバイオマスエネルギーの生産システム(植林・製造・利用)構築による多益性気候変動緩和策の研究」(2011-2015)では研究代表者をつとめられました。観測衛星を用いたベトナム・東南アジア地域の環境保全にも期待を寄せていただいています。ぜひご参加ください。</p> <p>【講演】 「アジアでの植林ーバイオ燃料製造・利用による気候変動緩和策の構築」</p> <p>【講師】 前田 泰昭 (大阪府立大学特認教授 ベトナム国家大学ホーチミン校特別栄誉教授)</p> <p>【概要】 炭酸ガス、メタンなどの地球温暖化ガスの発生を削減するために、アジアでの荒廃地、特に焼き畑跡地、炭鉱の採掘跡地に油の採取できる樹種を植林し、そこから採取した油から高品質のバイオディーゼル燃料(BDF)を製造し、バス、観光船に燃料として用いる。植林による炭酸ガスの吸収、BDF 製造・利用によるカーボンニュートラル、排ガスのクリーン化が実現し、さらに山岳少数民族の貧困改善にも役立つ。 特に今までほとんど利用されていなかった、ベトナム、ラオスでの広東アブラギリ、ロゼーレ、インドネシア、ベトナム、ラオス、マレーシアでのゴムの実を原料とした BDF 製造により、世界で初めて、軽油と価格競争のできる BDF 製造が可能となった。</p> <p>【主催】 大阪府立大学 21 世紀科学研究機構宇宙科学技術研究センター 関西宇宙イニシアティブ(KaSpI) 大阪府立大学は NPO 法人関西宇宙イニシアティブと連携協力協定を結んでいます。</p>
関連情報	関西宇宙イニシアティブ (KaSpI) http://www.kaspi.jp/
定員	先着 70 名
受講料	無料
お申込み・お問合せ先	大阪府立大学 宇宙科学技術研究センター(担当 真鍋武嗣) 関西宇宙イニシアティブ事務局(担当 大久保博志) E メール kaspi[at]aero.osakafu-u.ac.jp [at]の部分をもとに@と差し替えてください。